

サポセン mail No.185 2018.11.18 発行

＜発行元＞ 特定非営利活動法人 緑区子どもサポートセンター
千葉市緑区誉田町2-21-684-101 TEL&FAX 043-377-8490
E-MAIL:kids-support-midori@coffee.ocn.ne.jp
URL:http://saposen.konjiki.jp

地域ふれあい広場@おゆみ野中央

おゆみ野中央子育てリラックス館は複合施設である「おゆみ野ふれあい館」の中にあります。他のお部屋は地域の方々がサークル活動などに利用されています。せっかくの複合施設なのに今まで交流を持つことが無かったのですが、今年度新たな企画として地域の方々をお招きして交流する「地域ふれあい広場」を開催してきました。

第1回はリメイクでお手玉などを作るサークルと体操の先生、第2回はハーモニカサークル奏さんをお招きし、両会ともとても楽しいひと時を過ごすことができました。

今回第3回は11/14に「あしたば文庫」5名のメンバーと、リラックス館の講演会やあそび塾でもお世話になっている整体師の酒井さんにお越しいただきました。

「あしたば文庫」はご存じの方も多いと思いますが、前理事長の川本泉美さんが中心となって運営されていて、本の貸し出しや室内遊びで子どもたちも楽しみに来てくれる本の広場です。今回、川本さんがとてもハリキッテシルエットクイズを手造りして演じてくださいました。



動物編とアンパンマンキャラクター編の2本立て。当日は2歳のお子さんが最前列に座って集中して観て、知っている物は答えたりして盛り上がりました。アンパンマンは大人気ですね！（バイキン仙人はちょっと難しかったようですが・・・）



そして大型絵本（まどからのおくりもの・ぞうくんのさんぽ）を二人掛かりで読み聞かせをしてくれました。やはり大きい絵本だと子どもの気持ちをぐっと引き寄せ、小さい子も集中してジッと聴いて観ていました。読む方は大きな本のめくりや支えが思った以上に大変だったそうです。

そして酒井さんは整体師でいらっしゃるので、今回はフットケアに限らずお母さんたちの日頃の身体の悩みを受けてお話し下さいました。やはり抱っこが多いので腕が腱鞘炎で辛かったり、腰が痛い方が多くあり、日頃のケアなどのヒントをいただきました。参加した親子さんからもとても楽しかったというお声をいただきました！（子育てリラックス館担当 高山）

頑張って掘ったジャガイモが



おいしいカレーになったね

雨続きで土が堅くて大変だったね。でもよく頑張っていたね。

これまで畑の活動は非常に暑い日が多かったのですが、10月28日は快い天候で自治会館から畑までの道のりは心地よいものでした。この日は以前子どもたちが植えたジャガイモとサツマイモを収穫しました。サツマイモは夏の間、アブの幼虫に葉っぱをかなり食



べられていましたし、10月に入ってから雨が続き日照時間が極端に少なかったので、やせたものしか取れないと思っていました。しかし思った以上に大きいお芋が出てきました。でも雨続きで堅くなった土を手で掘っていくのは想像以上に大変です。「ねえ、シャベル貸してよ!」「大変だから手伝ってよ!」の声が上がりますが、シャベルで掘

るとお芋にキズがついてしまいます。子どもたちは粘り強くお芋のまわりを掘っていきました。これまで何回かあそび塾でお芋ほりをしてきましたが、こんなに大変だった記憶はあまりありません。きっと農家の方が掘りやすいように柔らかい土を盛り上げてくれたのですね。少々粘着質の土の性質もあったと思います。



土の中から沢山のミミズが・・・

土の中からはいろいろな生き物が出てきました。ジャガイモを掘っていただいち君は横に伸びた穴を発見。

「もぐらの穴だ!」と興奮気味でした。ミミズが次々と出てきますが、うどんのような太さで長さも10センチ以上ありました。「ミミズがいっぱいいるってことは、ここの土がいいってことだね。」というりこちゃんの言葉が印象的でした。さすが4年生ですね。さきちゃんは大きなミミズを手のにのせて見せてくれました。ムカデやコオロギなども現れました。



最近畑に行くといつも姿をみせてくれるウサギはこの日

は駐車場にいました。車の下に入ってしまう、こうすけくんは車が動いたときにウサギが轆かれたら大変!と覗き込んで心配していました。後半は山倉さんがあと少しのところまでで手伝ってくれたり、シャベルで少し回り



を掘ってもらったりしてジャガイモとサツマイモを沢山収穫することができました。ジャガイモはみちかちゃんが湧き水できれいに洗ってくれました。



ジャガイモはカレーに入れて、サツマイモは掘りたてのものはおいしくないなので、甘くなるように毎日お日さまにあてています。11月のあそび塾で焼き芋にする予定です。

舞台の上でワンマンショー！



先月もイタリア料理を調理したせいか、みんな手際よく野菜を切ったり、お米を研いだり、とても手際よくカレーを作りました。

カレーの野菜を煮込むほんの少しの時間でしたが、子どもたちは自治会館の小さな舞台上がり、ワンマンショーを始めました。自治会館のカラオケのマイクを持ち、ことりちゃん、みさきちゃん、りこちゃんが「365日の紙飛行機」を歌います。舞台にはピアノがあるので、れいちゃんが歌に合わせてピアノを弾いてくれました。



ちょっとの時間でも子どもたちはすぐに楽しいことを見つけて遊び始めます。そして、こういう時間が本当に楽しい時間なのですね。今回はまだリハーサルだったらしく、「11月も自由時間ある？」と何度も聞かれました。

おいしいカレーができあがり！



大鍋のカレーはすぐに出来上がり、みんなで食べました。つばさ君はビニール袋をかぶ



りコックさん風です。男の子たちはお母さんに食べさせたい！とできたカレーを持ち帰りました。本当に優しい子たちですね。（記：安藤）



すあま 結婚式 2018.11.3



今月はすあまの結婚式がありました。実に10年以上の間、サポセンを中心になって盛り上げてくれたすあまの結婚式は、大変感慨深いものでした。僕自身もすあまには様々なことを教わりました。サポセンになくはならない存在です。

式は海浜幕張のホテル「フランス」で行われました。この「フランス」はチャペルがとても綺麗な式場でした。入場するとすぐに「屋内なのに樹が生えているぞ?!」と、驚きました。チャペル中央にバージンロードがあり、左右に椅子が並べられていましたが、さらにその両脇に樹が空間を包み込むように生えていました。そして、パイプオルガンと生歌が演奏される中、結婚式はとり行われました。スタッフの方も大変親切で、ご予約のある方は是非ご検討ください。。



新郎さんは、とても静かで真面目そうな方だなという印象を受けました。某電力会社で施工管理などの取りまとめを行っており、福島でボランティア活動なども行っているそうです。温かくて、とても素敵な家庭になりそうですね。

披露宴では美味しい料理をたくさん頂きました。個人的には野菜料理がどれも絶品でした。料理の美味しいホテルとしても有名だそうです。

二次会では、な、なんと、サポセンのキャンプでほぼ毎年行っている「何だ何だ班会議！」を行ってしまいました(笑) 袋の中にマッサージ機、しゃもじ、ふりかけ、ペットボトル、お茶の缶の中から、すあまが「一つだけ取り出し」て、袋を振って各テーブルの周りを歩きます。



班ごとに相談して袋から取り出されたアイテムを当てるゲームです。私はどうしても「キャンプファイヤーの熱狂的な雰囲気」を、すあまの二次会で再現したい!! という思いがあり、山さんと一緒に再現してしまいました。途中でマイクを奪われそうになるハプニングもありましたが、一緒に盛り上げてくれた皆さんに感謝です!(記 ハリー)

